

UFBの期待できる最小径の実現性について

赤色レーザー（650nm波長）、緑レーザー（532nm波長）、紫（紫外線）レーザー（405nm波長）照射の写真を下記に示します。発生後2ヶ月経過しているにもかかわらず、気泡が観測できることから推して、

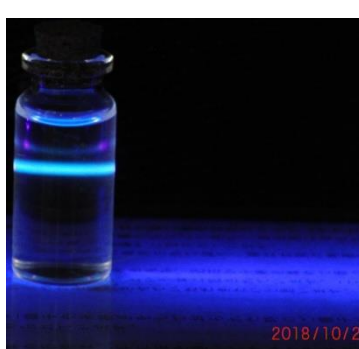
10nmレベルの極小径UFBの存在が、推定できます。



赤色レーザー
UFB水60日後



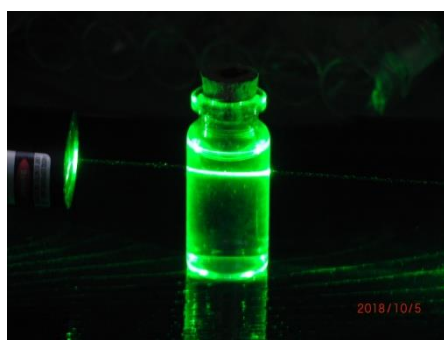
赤色レーザー
水道水



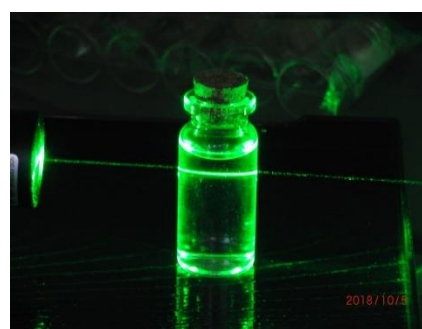
紫外線レーザー
UFB水60日後



紫外線レーザー
水道水



緑色レーザー UFB水60日後



緑色レーザー 水道水

考察

紫外線レーザー、緑色レーザーの散乱光がUFBが高濃度に存在することを予見します